

マリー・  
アントワネット  
からの Message from Marie-Antoinette   
メッセージ

織田 八千代  
Oda Yachiyo

青山ライフ出版



## はじめに

これから、皆様に、お話しする事は、  
私（織田 八千代）が、実際に、  
マリー・アントワネットの魂と交信した記録です。

驚かれるかもしれませんが、どうか、最後まで、  
彼女（マリーアントワネット）からのメッセージに、  
耳をかたむけて下さい。

**私**がギロチンで首を切り落とされた途端、群集から歓声が上がりました。

私の体は2つに分かれてしまったというのに…。

そのまま私の胴体はゴミの様に扱われ、処刑台から引きずりおろされました。

首はまるで、すいかがころげ落ちているかの様にゴロゴロと転がりおち、男が私の髪の毛をわし掴みにし、私の頭を高々と持ちあげ、群衆にさらけ出しました。

“フランス万歳！！”

歓声がわき起こりました。

私の37年間の人生に幕がおりた瞬間でした。



皆さんは魂を信じますか？

私もそんな事はこれっぽっちも信用していませんでした。  
死んだら天国に行けると信じておりましたし、俗に言うあの世に行けるものと思っておりました。

首を切りおとされた途端、私の魂は体から抜け出て天へと舞い上がりました。

ところがどうでしょう。  
途中で止ってしまったのです。

それどころか下降してしまったのです。

そして、観声がわき上った群集のあたりまで戻って来てしまったのです。

そこからが私の長い長い第2の人生の始まりです。



私 はうろたえました。

何で？ どうしたの？ 天国へ行くんじゃないの？

私はその辺を彷徨<sup>さまよう</sup>うはめになりました。

上へ、天国へ、あの世という所へ行こうとしても行けません。

行きかう人に声をかけても、もちろん届きません。

生前もそうでしたが、さらに皆様知らんぷりでございます。

どうやって私に気づいてもらえるのか、私が天国へ行けるのか、やっとわかるまでに 210 年かかってしまいました。

ここに私の 37 年間の人生をふり返り、愚かだった私の人生をふり返りつつ、魂の浄化をはかり、天国へと導いていただける事を心から願います。

